

## 令和元年度第12回 感染症発生動向調査部会

令和2年3月18日

月番：加藤 達雄

### 1 前月の感染症発生動向について（2020年第6週～第9週・2月）

#### <全数把握対象疾患>

- ・結核、潜在性結核感染症ともに、今年は前年同時期累計と比較して、若干増加している。
- ・百日咳は今月10例の報告があり、今年は前年同時期累計と比較して増加している。本年累計の29例のうち、ワクチン接種なしが4例、不明は7例であった。
- ・新型コロナウイルス感染症が県内で2例報告されているが、その後に拡大はみられていない。

#### <定点把握対象疾患>

- ・インフルエンザは2週以降、急速に減少しており、前月比27.8%であった。
- ・その他の定点把握疾患で、前年と比較して特別流行している疾患はない。

### 2 検討すべき課題

- ・新型コロナウイルス感染症について（加藤委員）

・3月18日時点では、岐阜県における新型コロナ感染症の報告は3例にとどまっているが、愛知県では大規模な2つのクラスターが報告されている。今後、岐阜県内で流行がみられる可能性が高い。

県民に対して、正しい感染予防の啓発が必要である。特に重症化しやすい高齢者に対する介護施設等での感染対策が重要である。高齢者施設には、感染対策の専門スタッフがいない施設がほとんどであると思われるため、具体的な感染対策について周知が望まれる。

新型コロナウイルス感染症は症状が軽度な場合も多く、感染の急激な拡大を防ぐためには、軽微な症状（喉の痛み、微熱）の有症状者が自宅から出ないことが大切である。感染の多くは家庭内で起きており、家族に感染を拡大させないことが重要であり、家庭内での具体的な対策を県民に示すことが必要と思われる。

症状が続く場合は、帰国者・接触者相談センターに連絡を行い、受診の調節がなされるが、医療施設での適切な感染対策の確保、医療資源の限界を超える受診が起きないようにするために、現時点ではこの体制が必要であることを広く周知することが大切である。

- ・感染症発生動向調査週報の様式変更について（保健環境研究所）

### 3 情報提供すべき事項

- ・「日本プライマリ・ケア連合学会」新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療所・病院のプライマリ・ケア 初期診療の手引き →プライマリ・ケアの医療現場における新型コロナウイルス感染症対策を含めた外来診療のあり方、患者さんへの説明について分かりやすく記載されている

- ・日本環境感染学会 HP

高齢者福祉施設の方のためのQ&A

新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項

#### 4 情報提供（月番委員専門分野から）

- ・日本感染症学会 HP にて、国内の症例が報告されている。

---

<検討結果>